

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62
JIROZAEMON ITO
MATSUZAKAYA DEPT STORE
MINAMIOTSU-DORI, NAKA-KU, NAGOYA, JAPAN



NO. 9. (JAN. 15 1956)

第九信 (昭和31年1月15日)

第六十二区ロータリークラブ

会長並ニ幹事殿

御参考

国際ロータリー 第62区ガバナー

伊藤次郎大由門

謹しんで新年を御祝い申し上げます

A Very Happy New Year

○ 半期報告を御忘れなく
(Semi-annual Report)

現在当方迄に名古屋・浜松・沼津・名古屋西・横浜・熱海・上野・藤沢・岡崎のクラブから Copy を送附頂いたのですが未提出のクラブは早速手続をとつて下さい。

用紙は上半期 (橙色) と異り白色です。コントローラ Robert C. Hilbert 氏の手紙と注意書がついています。12月15日以後承認されたクラブはその必要ありません。尙下半期に新設されるクラブの Charterfee は従来通り弗100.即ち¥36,000.です。

○ ベーカー会長挨拶要旨
(President A. Z. Baker's Address)

本年度のハイライトの一である A. Z. ベー

カー会長一行の日本訪問は12月14日の東京 R. C. 例会出席に始まり、同日夕方箱根に於ける歓迎懇談会、15日の四地区連合の協議会・歓迎晩餐会、20日の横浜 R. C. 例会等を中心に、極めて印象深い而も友情溢るゝ思出を残してゆかれました。一行の訪日歓迎の様子は「ロータリーの友」1月号に掲載されておりますからそれを御覧頂くことにし、私は出席出来なかつた方々の為にベーカー会長が話された要旨の一端を御伝えし度いと存じます。

——東京 R. C. 例会に於ける挨拶——

日本に於けるロータリーの量的進展は誠に素晴らしいものがある。私はその質的充実振りを直接自分で見てみたいと思つていたが、此度の訪問に依つてかねての念願が果される

DEVELOP OUR RESOURCES OUR AIMS for 1955-56

事は欣快に堪えない。ロータリーの理想を実行に移す場合の根本の心構えは他人に対する思いやりと、誰かに役立ち度いという心づかいである。又ロータリーの国際奉仕は今日のロータリーが人類に奉仕し得る最大の機会である。国際間の親善理解を深め世界平和の為の雰囲気醸成することがロータリー奉仕の目的となつてゐるから、ロータリーの最高首脳者として私共夫妻が今日世界各国を歴訪する動機も又そこにある。ロータリーの奉仕を具体的に実行に移す為にわかり易く説明すると「吾々の働く職場にロータリーを浸透せしめる」事に外ならない。

一四地区連合歓迎晩餐会席上のスピーチ

ロータリーにとつて日本はロータリーのかゝげる理想を伸展し実践すべき大きな機会と重大なる責任の存する Rotary Frontier と称すべき所である。50年前に創設者ポール・ハリスは先づ相互の Fellowship を交換し深め度いという熱望から始めたが、今日ロータリーという実り豊かな収穫を刈り取ることが出来る様になつた。日本でも同じ経過でロータリーが誕生し発展し戦後再建し直されて今日の如く168のロータリークラブと6,600人のロータリアンという驚くべき強力な組織が出来上つた。こういう生長を遂げる間に、国際間の親善・理解・善意を増進し世界平和の交友的雰囲気を醸成する宿命達成の為援助することが、ロータリークラブ並びにロータリアンの慣行となり特色の一となつた。私は日本に於けるロータリーの資源も又勘からざるものがあることを知り意を強くした。昨日来の印象特に先程の地区連合協議会の状況からみても、R.I.前会長フランク E. スペインが先般日本の各地区大会を訪問した際の報告が事実であることを確認出来た。私の代理を務めたフランクは日本のロータリアンが非常に熱心であり、各々に割当てられた責任を果す決意に燃えていると報告したが、私も亦その通りであると痛感し心強く思う。

—横浜 R. C. 例会に於ける挨拶—

(小生都合に依り参会出来ませんでした
が、小林カウンセラー・小松第60区ガバナーを始め近隣各クラブから50名のビジターがあり盛会であつた由)

今度の旅行で良い印象を受けた。各地のロータリアンに会い友情を深め、活発なロータリー運動を伺い喜ばしい。友情と良き理解を持つて今夕帰国するが、この印象を持つて世界のどの国にも旅行しよう。自己の職業を天職と考えその水準を向上させ社会に奉仕するのがロータリーの精神である。ロータリーは更に拓めるべきである。ロータリアンの善意と友情に国境はない。恐るべき誤解と悪意と斗争が世界の人種間、国家間に満ち溢れるこの世代に省みて敬愛するロータリアンのために

ロータリー十戒

(A Decalogue For A Rotarian)

を勧告されましたが、全文訳は「ロータリーの友」1月号に紹介されており、原文は「東京ロータリークラブ週報 No. 22」に掲載されておりますから是非御一読下さい。

○ 地区協議会 (District Assembly)

本年度第62区地区協議会の日取り場所は次の通り決定致しました。

4月13日(金)、14日(土) 於静岡ホテル

1956~57年度の各クラブ新役員特に新会長・幹事とは必ず出席せねばならぬ規定となつており、地区協議会に出席することが選出の一条件となつておりますから、3月に選出される新会長・新幹事は洩れなく御出席のことに予め上記日程をマークして置いて下さい。会務奉仕担当理事、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕各部門の委員長の出席も要望されますが、これ等役員の方々が出席せられても、新会長並に幹事の代理としての出席は認められません。即ち新会長・幹事の出席は義務とみなされるものですから、御両人が地区協議会

出席の為の実費は当該クラブの経費として支出されることになっています。御承知の通り地区協議会は新年度のクラブ活動の根源となるばかりでなく各会長・各幹事相互の交友を深め、戸田ガバナーノミニーとも十分話合う絶好の機会です。

何れ詳細決定次第、御通知致します。又グループディスカッションの各部門リーダーもガバナーから御依頼申し上げますから其節は御承引下さいます様御願します。

尙新役員の選出は3月中となつておりますが、地区協議会用名簿作製其他の事務手続の関係上出来得れば3月中旬迄に選出を完了して20日頃迄に当方迄御通知出来る様、今からその御積りで御手配願いたく存じます。

○ インターシテイ・フォーラム (Inter-city Forum)

先月のガバナー月信でも御依頼致しましたインターシテイ・フォーラムはブロック毎に代表のクラブが中心となつて着々御計画のことと存じますが、県単位で主として県庁所在都市R.C.の御斡旋に依りホストクラブ・開催日時等早急に御取決の上、成る可く早く当方迄御連絡下さいませ様重ねて御願申し上げます。現在当方迄御通知のあつた所は下記の通り名古屋R.C.のスポンサークラブに依る愛知県、岐阜県合同のインターシテイ・フォーラムです。

参加クラブ…一宮・半田・刈谷・岡崎・
名古屋西・蒲郡・津島・豊橋
尾西・岐阜・高山・大垣・
名古屋

日時…1月28日(土) 1.00p.m. ~ 5.30p.m.
5時半より懇親晩餐会

場所……名古屋トキワホテル別館

会費……@ ¥1,000.-

リーダー……柳瀬パストガバナー又は
小林カウンセラー

リーダー用の参考文献 (Manual for Leaders of Intercity General Forum) がありますか

ら、リーダーの御氏名通知あり次第御送り申し上げます。

○ フィラデルフィアに於ける ロータリー国際大会 (International Convention, Philadelphia)

6月3日から7日にかけて米国ペンシルバニア州のフィラデルフィアで開催されるロータリー国際大会に出席を御希望の会員は同市のホテルを予約される必要があります。

当ガバナー事務所にもR.I.本部宛の申込用紙 (Request for Hotel or Motel Reservations) が3部参つておりますから、必要のクラブには請求あり次第御送り申し上げます。R.I.本部に直接御照会される場合は下記宛に御願します。

- (1) 2月15日以前：ロータリー本部宛
- (2) 2月15日以後：Rotary Convention

Hotel Committee, Hotel
Bullevue-Stratford,
Room 552, Philadelphia 2,
Pennsylvania, U. S. A. 宛

○ 2月23日—ロータリー創立51周年記念日 (The 51st Anniversary of the Founding of Rotary)

ロータリーの51周年記念日に当る2月23日は各クラブがそのクラブ活動及びロータリーの世界的組織を、新聞・ラジオ等を通じて一般に再認識して貰う絶好の機会であります。R.I.本部のP.R.部長 Spencer Hagen 氏からは次の点を紹介されたいという手紙が参つております。

- (1) 第62区のロータリー活動
- (2) 各クラブ活動の中顯著な例
- (3) 国際的組織としてのロータリー

実際新聞記事にロータリーの活動を掲載されたクラブは新聞の切抜を、放送にニュースを提供したクラブはその事実を是非ガバナー事務所及びR.I.本部 Spencer Hagen 氏宛直接御報告下さる様御願します。

○ 新クラブ紹介 (New Clubs born)

次の2クラブが正式に加入を承認されたので、62区のクラブ数は49となりました。

クラブ名	高山	尾西
創立月日	11月20日	11月18日
承認月日	12月15日	12月28日
会員数	26名	20名
スポンサー クラブ	岐阜 R. C.	名古屋 } R. C. 一宮 }
特別代表	山崎 一	盛田 秀平
会長	永田 尙	橋本 新太郎
幹事	正森 彰	小川四郎兵衛
例会日	土曜日	月曜日
例会場	高山市名田町5丁目 高山商工会議所	尾西市三条 尾西信用金庫
事務所	同上	同上

(高山市の概況)

- 人口：約5万
- 戸数：2480戸
- 主要産業：製材業・鉱業・観光物産業
- 名勝旧蹟：下呂温泉・白川村大家族・神岡鉱山・飛弾国分寺・高山陣屋跡等

沿革：天正13年(370年前)金森長近城主となり元禄5年徳川直轄地となる
 明治維新後 岐阜県の管轄
 昭和9年 高山本線全通
 昭和11年 高山市制を実施
 昭和27年 中部山岳国立公園に指定

(尾西市の特色)

1. 木曾川にそう代表的毛織工業都市
2. 周辺の中島郡が日本で最も優れた野菜の産地

○ 七尾 R. C. 副会長の逝去と横浜 R. C. 役員変更 (Vice-President of Nanao R. C. deceased and Change of Officers of Yokohama R. C.)

七尾ロータリークラブの副会長祖浜由太郎

氏(北国新聞社七尾支社長)は10日朝逝去され、11日午後葬儀が執行されました。ここに謹んで氏の御冥を祈り哀悼の意を表します。

横浜 R. C. の会長西本勇次郎君病氣退会に伴い、下記の通り役員変更がありました(敬省略)。

- 会長 永沼 政久
- 副会長 野村 光正
- 幹事 兼松 理
- 副幹事 大川 俊郎

○ クラブ公式訪問 (Official Visits to Clubs)

12月のガバナー月信で予定した4日の熱海 R. C. は次の通り小田原 R. C. に変更し、中旬には神奈川県下の各クラブを訪問し度いと存じます。

日程の都合上、横浜東 R. C. の例会を13日(月)に御変更願いたく、又従来通りアセンブリイと例会を1日で済ませる為各クラブ共例会時間を夕食前後に繰下げて頂く様、御願申し上げます。

クラブ名	クラブ協議会	例会出席
吉原	2月2日(木)午後	全日夕方
沼津	2月3日(金)午後	全日夕方
小田原	2月4日(土)午後	全日夕方
横須賀	2月10日(金)午後	全日夕方
熱海	2月11日(土)午後	全日夕方
横浜東	2月13日(月)午後	全日夕方
横浜	2月14日(火)午後	全日夕方
藤沢	2月15日(水)午後	全日夕方
川崎	2月16日(木)午後	全日夕方

第62区1955年12月分出席率表

今月 順位	クラブ名	例会数	会員数	対期初 増 減	出席率
1	沼 津	5	47	=	100%
2	横 須 賀	5	42	+ 2	100
3	高 岡	5	33	=	100
4	一 宮	5	33	=	99.4
5	津 島	5	27	+ 4	99.3
6	熱 海	5	25	+ 3	99.2
7	川 崎	5	44	+ 2	99.1
8	名古屋西	5	47	+ 3	98.7
9	蒲 郡	5	23	=	98.3
10	豊 橋	5	46	+ 3	98.1
11	藤 沢	4	26	+ 1	98.1
12	伊 勢	4	31	- 2	96.8
13	岡 崎	4	35	=	96.4
14	富 山	4	45	+ 2	96.1
15	静 岡	4	41	- 4	95.8
16	浜 松	4	41	- 2	95.1
17	金 沢	4	71	+13	95.1
18	四 日 市	5	43	=	94.8
19	礪 波	4	28	+28	94.3
20	横 浜 東	5	29	+ 2	93.8

今月 順位	クラブ名	例会数	会員数	対期初 増 減	出席率
.....平均出席率.....					92.9
21	松 阪	4	36	+ 2	92.4
22	名 古 屋	4	109	- 1	92.1
23	岐 阜	5	45	=	92.0
24	上 野	4	31	+ 1	91.9
25	桑 名	4	34	+ 1	91.9
26	甲 府	4	34	+ 2	91.2
27	津	5	36	+ 2	90.7
28	半 田	5	29	- 2	89.5
29	大 垣	4	33	=	89.4
30	横 浜	4	88	+ 7	88.1
31	小 田 原	5	30	- 1	87.3
32	刈 谷	4	27	- 1	86.8
33	吉 原	5	31	+ 7	85.8
34	小 松	5	26	+26	84.6
35	清 水	4	36	- 2	80.6
36	魚 津	5	20	=	78.0
37	七 尾	4	24	+24	76.6
合 計		—	1,426	+120	3,437.3

(備考) 10月分出席率の順位は次の通り御訂正頂きたい。

1位：川崎 2位：横須賀 3位：蒲郡 4位：津島

ガバナ-月信 No.5で御願致しました通り平均出席率=月間出席延人員計÷会員月間延人員計
(会員数×例会数)は小数点以下第3位迄算出し、小数点以下第2位迄記入して御提出下さい。
順位決定の際参考資料と致します。

全く同率の場合例えば100%の場合は出席延人員の多いクラブに優位を与えることにしておりますが、10日迄必着の出席率報告が遅れて到着した為、印刷初稿に間に合はず後廻しになった前例もあります。当方でも今後充分注意致しますが御協力願います。尙電話電報で仮速報される場合にも出席率(小数点以下2位迄)と共に例会数・会員数を必ず御明示下さい。

上半期分（1955年7月～12月）第62区クラブ出席率一覧表（A.B.C順）

クラブ名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	順位	クラブ名
A 熱海	95.2	96.6	95.7	97.6	98.0	99.2	582.3	97.1	11	熱海
E 藤沢	91.0	89.6	96.9	93.1	97.1	98.1	565.8	94.3	19	藤沢
G 蒲郡	95.8	91.7	98.6	100.0	98.6	98.3	583.0	97.2	10	蒲郡
H 岐阜	93.9	93.5	93.4	95.6	93.9	92.0	562.3	93.7	20	岐阜
H 浜松	97.0	96.6	97.0	91.7	94.3	95.1	571.7	95.3	14	浜松
I 半田	94.2	89.4	92.0	90.8	83.9	89.5	539.8	90.0	29	半田
I 一宮	98.2	100.0	97.0	98.8	92.4	99.4	585.8	97.6	8	一宮
K 伊勢	100.0	100.0	95.9	98.3	95.5	96.8	586.5	97.8	7	伊勢
K 金沢	89.0	87.0	91.4	97.5	91.8	95.1	551.8	92.0	24	金沢
刈谷	97.1	93.8	92.0	91.0	88.9	86.8	549.6	91.6	25	刈谷
川崎	100.0	100.0	99.6	99.4	97.8	99.1	595.9	99.3	1	川崎
甲府	95.6	92.6	95.1	89.2	90.7	91.2	554.4	92.4	23	甲府
桑名	93.2	95.2	94.7	91.8	91.9	91.9	558.7	93.1	22	桑名
M 松阪	92.9	95.6	93.8	96.5	95.1	92.4	566.3	94.4	17	松阪
N 名古屋	89.7	90.9	89.8	90.8	90.4	92.1	543.7	90.6	27	名古屋
名古屋西	95.6	97.8	97.0	97.5	97.9	98.7	584.5	97.4	9	名古屋西
沼津	99.2	99.5	97.9	98.4	97.9	100.0	592.9	98.8	2	沼津
O 小田原	82.6	94.8	94.1	88.9	87.8	87.3	535.5	89.3	31	小田原
大垣	92.4	93.9	92.7	91.9	89.0	89.4	549.3	91.6	26	大垣
岡崎	97.9	98.9	98.5	97.9	98.6	96.4	588.2	98.0	6	岡崎
S 清水	93.2	91.7	82.4	86.9	83.3	80.6	518.1	86.4	34	清水
静岡	91.1	90.2	85.0	87.6	88.2	95.8	537.9	89.7	30	静岡
T 高岡	95.5	98.5	99.4	98.5	100.0	100.0	591.9	98.7	4	高岡
富山	98.3	95.9	94.9	97.7	94.2	96.1	577.1	96.2	13	富山
豊橋	97.1	99.4	97.1	95.3	94.1	98.1	581.1	96.9	12	豊橋
U 津	96.4	95.4	93.4	93.9	96.0	90.7	565.8	94.3	18	津
津島	100.0	100.0	99.2	100.0	92.6	99.3	591.1	98.5	5	津島
上野	95.0	96.9	93.8	92.2	100.0	91.9	569.8	95.0	16	上野
魚津	88.0	91.7	70.5	73.8	92.9	78.0	494.9	82.5	35	魚津
Y 四日市	94.8	90.7	97.3	97.1	96.1	94.8	570.8	95.1	15	四日市
横浜	90.4	89.4	95.2	89.5	90.2	88.1	542.8	90.5	28	横浜
横浜東	91.9	93.5	93.6	92.5	94.2	93.8	559.5	93.3	21	横浜東
横須賀	96.5	97.4	98.9	100.0	100.0	100.0	592.8	98.8	3	横須賀
吉原	92.1	86.2	87.2	87.0	91.4	85.8	529.7	88.3	32	吉原
小松	—	—	—	69.2	73.1	84.6	226.9	75.6	37	小松
七尾	—	—	—	80.0	73.6	76.6	230.2	76.7	36	七尾
礪波	—	—	—	90.0	78.8	94.3	263.1	87.7	33	礪波
合計	3,210.8	3,214.3	3,191.0	3,427.9	3,410.2	3,437.3	19,891.5	94.4		
平均	94.4	94.5	93.9	92.7	92.2	92.9	560.6	93.4		

(参考)：出席率競争に参加している外国の例 (Attendance Contest for Oct., 1955)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
%	96.7	96.4	95.9	94.8	94.7	94.2	93.8	93.4	92.7	92.4
地区名	158	160B	160C	160A	159	182	162	157	185	150